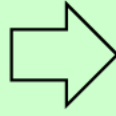


農業用水を活用し、良質なブドウを生産 ～矢野 恵司 氏～

経営体の概要

就農時 : 昭和13年度
 基幹作物 : ぶどう(デラウエア、巨峰)
 経営面積 : 0.5ha



現在 : 平成28年度
 基幹作物 : ぶどう(デラウエア、シャインマスカット、巨峰 等)
 経営面積 : 0.5ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

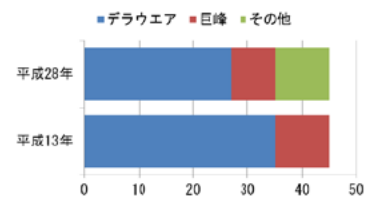
本事業により安定的な用水供給が可能となったことから、水稻を近隣の法人に委託し、施設園芸によるブドウ専作の栽培に取り組んでいる。市場のニーズや出荷時期を調整するために、ブドウの品種を多様化し、堆肥を使った土作りや適正な温度管理による単収や品質の向上により、農業経営の安定化に努めている。

営農改善のポイント

①作物の変化(品種の多様化)

就農時には、デラウエアや巨峰を主に生産していたが、市場ニーズに対応し、出荷時期が重なる等による収穫作業が集中していたが、本事業により安定的な用水供給が可能となったことにより、シャインマスカットなどの多様な品種を生産することで収穫作業時間のピークの平準化を図っている。

ブドウ品種の推移(単位: a)



②単収や品質向上

事業により給水栓から農業用水を利用できることから、渇水時でも良質のブドウを生産している。また、堆肥を投入した土作りを行い、適正な温度管理や積極的に農協等で主催する勉強会・先進地視察にも参加するなど、良質なブドウを生産するために努力をしている。



給水栓による用水供給

③担い手の育成・確保

長年にわたり、斐川町ブドウ生産組合の代表として良質なブドウを生産することで、地区内のブドウの商品評価を上げている。また、新規就農者に対しては生産組合を通して技術指導や助言をすることで地区内の後継者育成・確保により、地域の活性化に貢献している。



ブドウの施設栽培

事業概要

事業種 : 国営農業用水再編対策事業
 関係市町 : 出雲市
 受益面積 : 3,728ha
 事業期間 : 平成17年～平成28年
 事業目的 : 用水改良
 主要工事 : 用水路の新設・改修49.7km、揚水機場等の改修3ヶ所、汐止堰新設1ヶ所、水管理システムの整備一式 他

位置図(島根県)



<局問い合わせ先>

中国四国農政局
 農村振興部農村環境課
 電話: 086-224-4511
 (内線: 2562)

(平成28年度調査時点)